

令和3年6月

日本学校教育相談学会 会員 各位

第33回総会・研究大会(兵庫大会)第3次案内

大会テーマ

『 気づき つながり 支えあう学校教育相談
～さまざまな困難を乗り越え、多様な個性が輝くために～ 』

第33回総会・研究大会(兵庫大会)が近づいて参りました。

今大会における口頭発表、自主シンポジウム等の内容及び申込方法についてお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大は収まらず、今後の見通しがなかなか立たない現状を踏まえ、第33回全国大会はオンラインで実施する運びとなりました。本学会では、全国大会をオンラインで実施するのは初めての取組となります。オンラインではありますが、会員の皆様が研鑽を深め、学校教育相談の更なる発展の機会となることを願っています。

一般社団法人 日本学校教育相談学会会長 栗原 慎二
第33回総会・研究大会実行委員会委員長 向江 幸洋

- 1 主 催 一般社団法人 日本学校教育相談学会
- 2 主 管 日本学校教育相談学会兵庫県支部
- 3 後 援 文部科学省 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 兵庫県立学校長協会
兵庫県中学校長会 兵庫県小学校長会 (公社) 兵庫県保育協会
(一社) 兵庫県私学総連合会 (一財) 兵庫県学校厚生会 学校法人神戸野田学園
学校法人神戸弘陵学園
- 4 期 日 令和3年(2021年)7月30日(金)・31日(土)・8月1日(日)
- 5 実施方法 Zoomによるオンライン
- 6 日 程

●7月30日(金)

8:30	9:00	12:00	13:00	16:00	16:30	18:30
受付	夏季ワークショップ		休憩	夏季ワークショップ	休憩	全国支部・代表者会議

●7月31日(土)

8:30	9:00	10:30	10:40	11:20	11:30	12:30	13:30	17:00
受付	開会行事 総 会	休憩	文部科学省 講 演	休憩	記念講演	休憩	実践事例・研究発表・自主シンポジウム	

*文部科学省講演

講 師 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 課長 江口 有隣 先生

*記念講演演題 「LGBTをめぐる教育課題」

講 師 一般社団法人 LGBT政策情報センター 代表理事 尾辻 かな子 先生

●8月1日(日)

9:00	9:30	12:00
受付	学会賞・小泉英二賞受賞者講演、実践事例・研究発表、自主シンポジウム	

7 研究・実践事例発表

発 表 主 題 ・ 題 目		発表者	所属支部	期 日
1	ギフテッド対応方策を考える	中野 武房 寺嶋 誠也	北海道	31日 (土)
2	「チームとしての学校」において心理職の機能を作用させる実践の検討 ーパンデミック（COVID-19）以降の中学校における教育相談体制の検証ー	中村 豊	埼玉県	
3	社会的自立支援プログラム「こころ」の実践	西村 宜幸	京都府	
4	キャリア・ポートフォリオにおけるにおける教員の対話的関わりに関する研究 ー成長を促す指導の観点からー	胡田 裕教	大阪府	
5	MLA 協同学習指導行動尺度の開発	沖林 洋平 中林 浩子 栗原 慎二	広島県 新潟県 広島県	
6	ー個別と集団へのアプローチを通してー	亀松 千穂	愛媛県	
7	全校体制で行う「心を育てる時間」（人間関係作り）のー考察	五日市美穂	新潟県	
8	COVID-19 感染症拡大下における中学校支援学級での自立活動の実践	谷口万起子 米田 薫	大阪府	
9	商業教育における倫理観・道徳観の現状 ー倫理意識調査を通じてー	松下 眞治	大阪府	
10	COVID-19 感染症拡大下における学級づくり ～小学校での取り組み～	和久田耕平 齋藤 麻依 米田 薫	大阪府	
11	不登校またはその傾向にある子供とゴールをどのように共有するか 考え方の指針となった事例を振り返って	山下 晴久 余吾 知子	奈良県	
12	定時制高校におけるスクールソーシャルワーカーと教員の関わりについて ーコーディネーターの立場からー	坂本 高英	大阪府	
13	小学校における集団 SST の実践研究	松永 邦裕 皿田 洋子 本徳 勇気 芦谷 将徳	福岡市	1日 (日)
14	東日本を中心とした災害支援活動の振り返り及び支援プログラムの提案	砥柄 敬三 根本 節子 糟谷 恭子 犬塚喜久男	東京都	
15	学校教育相談の展開 ： 小泉英二の業績からの考察	和井田節子	埼玉県	
16	コロナ禍における SC と学級担任のコラボレーション 「心とからだのサポート授業」を通して	吉澤 寿一	東京都	
17	高校における相談室登校の課題と意味	原田まや子	静岡県	
18	被災児童の不安を軽減するための方法の検討～阪神淡路大震災と東日本大震災の共通点を探ることを通して～	伊藤 克秀	宮城県	

8 自主シンポジウム

	内 容	期 日
1	テーマ：性の多様性を認め合う児童生徒の育成 企画者・司会者：松本 一郎（岡山県） 指定討論者：渡辺 大輔（埼玉大学） 話題提供者：松尾 真治（倉敷市中学校） 川原あゆみ（倉敷市小学校） 鈴木富美子（ブラウド岡山）	31日 (土)
2	テーマ：学校教育相談を「つたえる」ために 一若手教員のニーズ把握とサポートに向けてー 企画者・司会者：岩瀧 大樹（群馬県） 指定討論者：青木美穂子（群馬県） 話題提供者：上井 勇一（群馬県） 木村 貴博（群馬県） 湯本 裕貴（群馬県）	
3	テーマ：教育活動において教員が感じる困難と欲しいサポート体制とは 企画者・司会者：磯野 清（兵庫県）・木村 正男（岐阜県） 指定討論者：富永 良喜（兵庫県立大学） 話題提供者：金子恵美子（群馬県） 鈴木 章乃（愛知県） 藤坂 雄一（宮城県） 磯野 清（兵庫県）	
4	テーマ：「チーム学校」で取り組む不登校支援ー適応指導教室・別室登校のあり方とは？ー 企画者・司会者：山崎 茜（広島県） 指定討論者：栗原 慎二（広島県） 話題提供者：米田 成（大阪府） 名田 正廣（大阪府中学校） 齊藤 弘樹（熊野町教育委員会）	1日 (日)

第22回夏季ワークショップのご案内

総会・研究大会の前日（7月30日（金））に、研修委員会主管で夏季ワークショップを下記のとおり開催いたします。ぜひご予定をいただけますようご案内申し上げます。

日本学校教育相談学会研修委員会委員長 田邊 昭雄

- 1 日 程 7月30日（金）
- 2 実施形式 オンライン研修（Zoom ミーティングによるライブ配信）
- 3 内容・講師
 - ＜午前の部＞ 9:00～12:00
 - Aコース 「明日から使える生徒指導・教育相談の技
～ネットいじめ・ゲーム依存、コロナ禍での集団づくりも含めて～」
講師：金山 健一（神戸親和女子大学）
 - Bコース 「発達障害のある子どもへの支援について」
講師：岩永 竜一郎（長崎大学）
 - Cコース 「論文の書き方講座：教育相談実践を、心理学論文（科学論文）にまとめる方法
—現場における素晴らしい教育指導経験を、次なる世代へ繋いでいくために—」
講師：山崎 洋史（仙台白百合女子大学）
 - Dコース 「ファシリテーターとしての教師」
講師：杉原 里子（スクールソーシャルワーカー、ホワイトボード・ミーティング認定講師）

- ＜午後の部＞ 13:00～16:00
 - Eコース 「チームとしての学校・教育相談校内体制づくり」
講師：植山 起佐子（スクールカウンセラー）
 - Fコース 「コロナ時代」におけるいじめ・不登校への対応
— 子ども理解と指導・支援・ケアの視点から —
講師：春日井 敏之（立命館大学）
 - Gコース 「学校教育相談に活かす描画法 ～理論から臨床まで～」
講師：橋本 秀美（跡見学園女子大学）

4 ワークショップ参加費

	参加費（1講座につき）
会員	2,000 円
日本スクールカウンセリング推進協議会加盟団体会員	2,000 円
学校カウンセラー、学校カウンセラー・スーパーバイザー	1,000 円
非会員	3,000 円
学生会員	1,000 円
学生非会員	2,000 円

※学校カウンセラー、学校カウンセラー・スーパーバイザーは1,000 円が認定委員会より補助されるため、上記の金額となります。

※一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会加盟団体は、日本学校教育相談学会、日本学校心理士会、日本キャリア教育学会、NPO 日本カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会で構成されています。

- 5 定員 A・B・Dは90名程度、Fコースは100名、C・E・Gコースは40名程度
- 6 申し込み期間 令和3年6月25日（金）～7月16日（金）必着
- 7 申込みにあたってのご注意
 - (1) 申込後のコース変更はできません。
 - (2) 申込後に参加取消しの場合、参加費の返金はできません。
 - (3) 受付は先着順ですので、申込が定員に達した場合は第2希望にまわっていただきます。
 - (4) 全日程を受講された方には研修修了証を発行します。
 - (5) ガイダンスカウンセラー強化研修、学校カウンセラーの更新ポイントに該当します。
- 8 夏季ワークショップに関するお問い合わせ先

田邊 昭雄 （Eメールアドレス：ta-aki263@outlook.jp）

【第22回夏季ワークショップ・講師の先生方による講座案内】

<午前の部> 9:00～12:00

Aコース 「明日から使える生徒指導・教育相談の技

～ネットいじめ・ゲーム依存、コロナ禍での集団づくりも含めて～

講師：金山 健一（神戸親和女子大学）

【コース概要】（定員：90名程度）

「もう、モグラ叩きの生徒指導はやめませんか？」問題が次々と起こってから対応では、教員も子供たちも疲れてしまいます。私自身、中学校に勤務し、主に生徒指導、教育相談を担当しました。かなり荒れた中学校に赴任し、教員同士のチーム支援で学校を再生した経験から、どんなに荒れた学校、学級でも立ち直ることが出来ると確信しています。〈対処療法〉ではなく、〈予防的・包括的な生徒指導・教育相談〉を提案しています。

本講座では、明日からすぐに使える生徒指導・教育相談の技をご紹介します。さらに、①ネットいじめ、②ゲーム依存 ③子どもの自殺と命の教育、④ いじめ事件と裁判 ⑤大人が知らない子どもの世界（援助交際、パパ活）についても触れていきます。参加された皆様は、きっと驚かれると思います。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

Bコース 「発達障害のある子どもへの支援について」

講師：岩永 竜一郎（長崎大学）

【コース概要】（定員：90名程度）

学習症、注意欠如・多動症(ADHD)、自閉スペクトラム症(ASD)、発達性協調運動症(DCD)などの発達症のある子どもは10%以上いることが推定されますので、ほとんどの学級に在籍しているでしょう。演者は、これまで巡回相談を通して、学校の内外で子どもの支援に関わってきました。その中で、学級内にたくさんの発達症のある子どもが在籍していること、未診断の子どもが多く教師が対応に苦慮していること、行動の偏りが強い子どもへの対応に教師が困惑していることなどを痛感してきました。このように発達症のある子どもへの特別支援教育・支援は、大きな課題となっており、それらの子どもに関わる教師等の支援スキルもより高いもの求められるようになってきているに思います。

本講座では、発達症のある子ども、その疑いがある子どもの特性について説明し、学校現場で使うことができる支援について紹介させていただきます。

Cコース 「論文の書き方講座：教育相談実践を、心理学論文（科学論文）にまとめる方法 ー現場における素晴らしい教育指導経験を、次なる世代へ繋いでいくためにー」

講師：山崎 洋史（仙台白百合女子大学）

【コース概要】（定員：40名程度）

心理学論文の作成・投稿支援のための講座です。ご存知の通り、日本学校教育相談学会において、他の学会に無い特徴として、教育現場における素晴らしい教育相談実践を蓄積し、その知見やスキル・マインドを、次なる世代の若い教職員へつないでいく目的があります。毎年、学会員の素晴らしい実践は「学校教育相談研究」に査読論文として掲載されております。

しかし、一方、日頃から素晴らしい教育実践をされていても、心理学論文（科学論文）を作成することに、慣れていない、初めてだ、自信がない、まとめ方に不安がある、あるいはまとめたが単なる実践報告書になってしまう、など、科学論文作成のためのご質問をお受けすることは少なくありません（学会誌作成委員会）。それにお応えすべく、本研修では、教育実践を心理学論文（科学論文）にまとめ上げるための重要な視点やスキルを、確実におさえていきます。

実は、私事で恐縮ですが、博士論文2本目であるPh.D.（博士号）を2020年3月に取得し、2021年4月（先日）に科学研究費学術図書出版内定の連絡を受けました。只今、今夏締切の学術図書公費出版のための作業を頑張っ（慌てて）しております。その拙者経験も含めて、最新の科学論文作成の楽しさを共有できる講座にする所存です。

ワークショップ修了後、学会誌へ投稿したくなるモチベーションの高まりを自ら感じ、発見していただければ幸いです。

Dコース 「ファシリテーターとしての教師」

講師：杉原 里子（スクールソーシャルワーカー、ホワイトボード・ミーティング認定講師）

【コース概要】（定員：90名程度）

ファシリテーション技法のひとつである「ホワイトボード・ミーティング®」を活用した教育相談やケース会議の進め方や児童・生徒の心をケアする集団づくりについて学び、練習をします。習熟すると短時間で効果的に会議を進めることが可能になるので、学校現場の多忙感の解消にも役立ちます。また、児童・生徒のソーシャルスキルトレーニングとしても有効で、豊かなつながりをつくれます。内容は以下の通りです。

- ① ファシリテーションの基礎
- ② ホワイトボード・ミーティング®とは
- ③ 好意的な関心の態度と質問の技術
- ④ 教育相談の進め方
- ⑤ ケース会議の進め方
- ⑥ 振り返り

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」（中教審答申）にも、教師に求められる資質・能力として「ファシリテーション」があげられています。ホワイトボード・ミーティング®は人権尊重とエンパワメントを進めるファシリテーション技術です。

<午後の部> 13:00～16:00

Eコース 「チームとしての学校・教育相談校内体制づくり」

講師：植山 起佐子（スクールカウンセラー）

【コース概要】（定員：40名程度）

参加者には、それぞれの学校の「現状分析」と「打開策（試案）」「実際にうまく稼働している学校の成功の秘訣」などの簡単なまとめを事前にご準備いただき、参加者間で共有する。そこから見えてくる共通課題を抽出し、各学校の現状に合わせた校内態勢づくりのコツを掴んでいきたい。集団力動やリーダー論などの社会心理学的視点に加えて個人の内的力動にも目を向け、校内チームの機能を安定させることで、外部の専門機関や地域の協力者との連携・協働が機を逸することなく実現できる「力」をつけたいと考えている。この作業が「チームとしての学校」の中に充実した教育相談体制を確立することの重要性を痛感している現場人の誰もが抱えている素朴な疑問（実際に有機的な組織が稼働している学校が多いと言えない現状は「なぜ」なのか）への答えに繋がるのではないかと期待している。情報共有やディスカッションにより打開策を見出し、実践に繋げていくことを目指す。

Fコース 「コロナ時代」におけるいじめ・不登校への対応

—子ども理解と指導・支援・ケアの視点から—

講師：春日井 敏之（立命館大学）

【コース概要】（定員：100名）

コロナ感染の終息がなかなかみえない中で、その影響は子ども、保護者、教職員に、ボディブローのような打撃となっているのではないのでしょうか。講座では、「コロナ時代」における子どもの生活や願いを踏まえ、いじめ・不登校に焦点を当て、「予防的対応、初期対応、重大事態対応」などのあり方について検討していきます。その際、教職員が個々の判断で対応するのではなく、子ども理解・見立て（アセスメント）と取り組み方針（プランニング）を学校組織（チーム）として行っていくことが重要です。また、子どもの起こす様々な事象は、大人へのSOSなのです。傷つきを抱えながら学校に通い、息切れをしているような子どももみられ、指導・支援と同時に、前提としてのケアのあり方が問われています。威圧的な言動ではなく、対話的・共感的な姿勢、関係で子どもと関わる学校教育相談を柱に、具体的な取り組みについてケース検討を含めて一緒に考えていきましょう。

Gコース 「学校教育相談に活かす描画法 ～理論から臨床まで～」

講師：橋本 秀美（跡見学園女子大学）

【コース概要】（会員限定：40名程度）

このWSでは、最初に描画法の基本的な理論や実施法についてまとめます。それから、実際の学校教育相談やカウンセリングで使用された描画の、その解釈や活用法について、描かれた多くの絵から学び、実践の場で明日から使える描画法をめざしたい。初心の方から実践を積んだ方まで、応用できる描画法について学びたい。

描画法は、心の内面から病理まで、また発達障害や発達特性など、様々なアセスメントの情報を提供してくれます。カウンセリングの見立てや方針はもちろん、その手法や介入に至るまで、描かれた絵が多くの示唆を与えてくれます。

数年前に本学会の学会賞受賞を機にこれまでの1000を超える事例を振り返り、多くの描画法の活用されたケースで用いられた絵を少しでも多く見て戴きたいと思います。長年の臨床実践で描かれた様々な多くの描画を、皆様に見て戴くことにより、目を肥やし、今後の実践に活かして戴きたい。また、それらの描画をどのような場面でどのように使用し、問題の解決へ至るのか、その活用法を示唆できればと思います。

なお、本コースは事例研究を多く扱いますので、日本学校教育相談学会会員で職務上守秘義務を有する方、並びに本研修において一般的な情報モラル以上に秘密保持の徹底できる方に参加を限定いたします。

日本学校教育相談学会 第33回総会・研究大会（兵庫大会）、夏季ワークショップ 申込のご案内

※ お申し込みは日本教育相談学会のホームページからお願いいたします。

1 申し込み期間と方法

(1) 申込期間：令和3年6月25日（金）～7月16日（金）

(2) お申込み・お支払い方法

- ① 学会ホームページの申込リンクよりお申込みください。
- ② お申込み及び入金が確認された方に、近畿日本ツーリストより予約確認メールをお送りします。
また、マイページが作成されますのでマイページ内でコース内容等確認が可能となります。
- ③ 研究大会・ワークショップとも開催並びに参加コースが確定となりましたら、各参加内容のZOOM IDとパスワードをメールにてお送りします。
- ④ 支払いは、申込画面でのクレジットカード決済または銀行振込のみとなります。恐れ入りますが、振込手数料は各自お支払いください。銀行振込の場合、別途請求書を発送いたします。
- ⑤ 上記、申込期間内の受付のみとなり、申込期間終了後、当日等のお申込みはできません。

(3) 個人情報入力に関するお願い

① 会員 及び 学生会員の皆様へ

『会員』からお申込みの際、個人情報を入力する画面で必ず支部名・会員番号をご入力ください。

例) 支部名（都道府県）兵庫県 会員番号 12345

② 日本スクールカウンセリング推進協議会加盟団体会員 及び 学校カウンセラー、学校カウンセラー・スーパーバイザーの皆様へ

・日本スクールカウンセリング推進協議会加盟団体会員の方：『会員』からお申込み頂き、個人情報を入力する画面で必ず所属のご入力をお願いします。

例) 所属団体 日本教育カウンセラー協会、日本学校心理士会 等

・学校カウンセラー、学校カウンセラー・スーパーバイザーの方：『会員』からお申込み頂き、個人情報を入力する画面で必ず認定番号のご入力をお願いします。

例) 認定番号 1234

③ 学生非会員 及び 大学院生 の皆様へ

・学生非会員の方：個人情報を入力する画面で必ず大学名のご入力をお願いします。

・大学院生の方：参加区分につきまして、『非会員』をご選択の上、大学院名をご入力ください。学生非会員ではお申込みできません。

④ 非会員の皆様へ

『非会員』からお申込みの際、個人情報を入力する画面で必ずご所属の職名をご入力ください。

例) ○○小学校教諭、○○高校カウンセラー 等

2 参加費のご案内

(1) 研究大会参加費

参加区分	研究大会参加費
会員	3,000 円
非会員	4,000 円
学生会員	2,000 円
学生非会員	3,000 円

(2) ワークショップ参加費

参 加 区 分	ワークショップ 参加費
会 員	2,000 円
日本スクールカウンセリング協議会加盟団体会員	2,000 円
学校カウンセラー、学校カウンセラー・スーパーバイザー	1,000 円
非会員	3,000 円
学生会員	1,000 円
学生非会員	2,000 円

※本年のワークショップは午前と午後で2コース選択いただけます。参加費用につきましては、1コースで上記料金となります。2コースの受講では合算した料金となります。

※一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会加盟団体は、日本学校教育相談学会、日本学校心理士会、日本キャリア教育学会、NPO 日本教育カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会で構成されています。

3 申込後の変更・取消について

お申込みの変更・取消は、原則として令和3年7月16日(金)までとなります。

メールでご連絡ください。(nambu120037@mb.knt.co.jp)

※ワークショップは、お申し込み後のコース変更・取消はできません。

お申込後に参加取消の場合、参加費の返金はできませんが、代理人の参加は認めます。

大会に関するお問合せ

第33回総会・研究大会(兵庫大会)
実行委員会事務局長 古谷(ふるや) 雄作
※ E-mail : hyogo20807@gmail.com
※ FAX専用番号 078-992-2723
※ お問合せはできるだけメールをお願いします。
※ **申込みに関するご質問は、下記、近畿日本ツーリスト**にお願いいたします。

申込確認・登録に関するお問合せ

(お申込み・お問い合わせ)
株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 東京私学教育旅行支店
「日本学校教育相談学会第33回総会・研究大会」係

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 7 階
TEL:03-6685-9560 FAX:03-6685-9566
E-mail:nambu120037@mb.knt.co.jp
営業時間: 月～金 9:00～17:00(土・日・祝日休業)
担当 南部 友紀 及び 営業第3課